DC
隻眼獣ミツヨシ 1 上山徹郎
DE-77
発行 メディアワークス

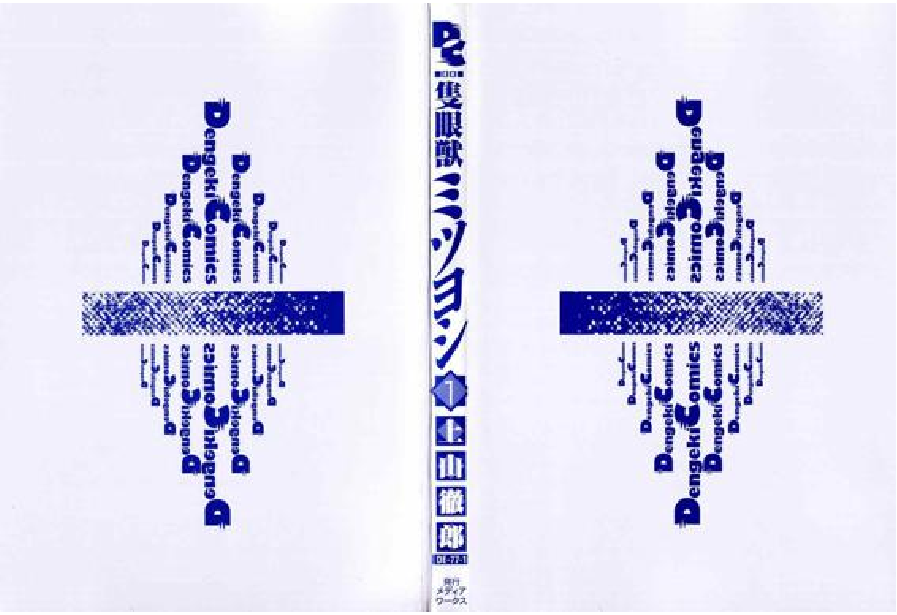
ISBN4-8402-2342-4
C0979 ¥850E
9784840223423
1920979008502
発行●メディアワークス
定価：本体850円
※消費税が別に加算されます

SOLEVISION MITSUYOSHI

DENGEKI COMICS EX

- 銀河戦国群雄伝ライ 全27巻
- Nocturne～夜想曲～ 全3巻
- ガンドライバー 全8巻
- リスティス①～②
- ドラゴンナイト4 全3巻
- 電撃ガオガイガー
- GUNばれ!ゲーム天国 全3巻
- あずまんが大王 全4巻
- ヘキサムーン・ガーディアンズ
- ダークウィスパー①～②
- イグナクロス零号駅①
- マラヤ 全4巻
- ANGEL FOYSON
- 隻眼獣ミツヨシ①
- SISTER RED①
- ドキドキプリティリーグ Lovely Star
- ココロ図書館 全3巻
- 電撃ガンパレード・マーチ THE COMIC
- あずまんがリサイクル
- レディ・ファウスト 全2巻
- Natural－F&Cリミックスファンブック～Canvas～
- Prism Palette
- クロノスヘイズ①～②
- 真・快傑蒸気探偵団①～⑩
- 神無[カンナ]①～②
- ニニンがシノブ伝①
- TOYBOYバグジ 全2巻

SOLEVISION MITSUYOSHI
Dengeki Comics
隻眼獣ミツヨシ
1
Mitsuyoshi
上山徹郎
発行●メディアワークス
SOLEVISION MITSUYOSHI
DENGEKI COMICS EX


Dengeki Comics
隻眼獣ミツヨシ
1
上山徹郎
DE-77-1
発行
メディアワークス

隻眼獣
Mitsuyoshi
1
上山徹郎

隻眼獣ミツヨシ 1 目次

第1話 5頁

第2話 49頁

第3話 81頁

第4話 97頁

第5話 113頁

第6話 129頁

第7話 145頁

第8話 161頁

第9話 177頁

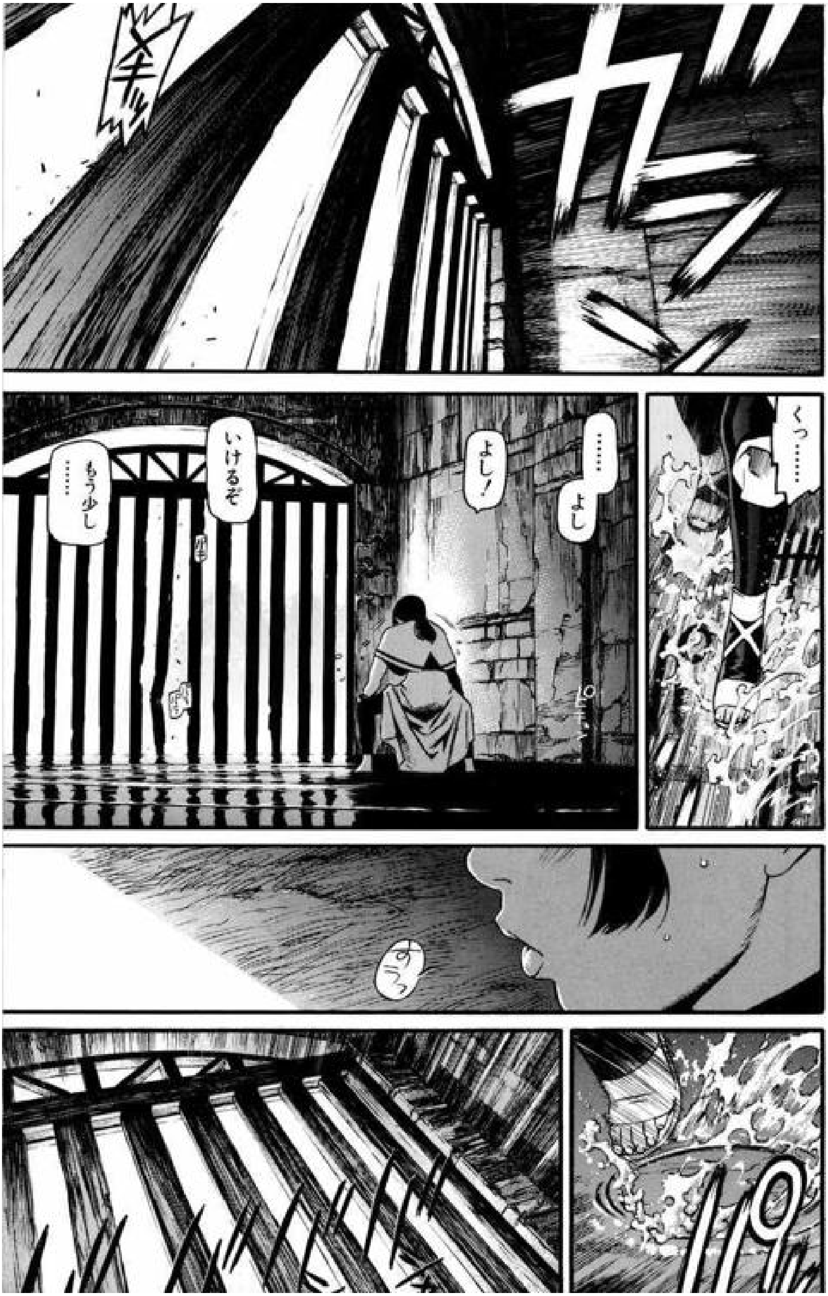
第10話 193頁

SOLEVISION MITSUYOSHI

1

SOLEVISION

MITSUYOSHI


ガッ
メキッ
くっ……
……よし
よし！
いけるぞ
もう少し……
ふうっ

カラン
カラン
カラン
よってらっしゃい
みてらっしゃい
良い子はみんな
よっといで
さあさ始まる
不思議な時間
びっくり仰天
楽しい
お芝居
始まるよ
──っ！

朱膳さま！
夜寒郎？

朱膳さま こっ
こちらに 祠千代さまは ……!?
いいえ
まだおいでにならないから私からお迎えにあがろうかと…
ああ やっぱり!
こちらにもおられないなんて
まさか本当にお城を出られたんじゃ…
!
どういうこと!?
これは…!
すぐ戻る 祠千代
お琴の稽古から戻られた時です
ザァ
ァ
ァ
ァ
私がお着替えを用意している間にお姿が消えて
後にはその書き置きが…

このことを知っているのは？
まだ朱膳さまと私だけです
でもっ
でも早くみんなにも知らせないと
うっ
銅千代さまが…　あうう
すみません私のせいです
う
えぐ
え
銅千代さまに何かあったら私…私っ
夜寒郎……
大丈夫！
城は広いもの簡単に外へは出られないわ
それに今は銅千代さまの剣術の時間…
私にも責任があるわ
ぽんっ
一緒に捜しましょ
ね！

その時！
森の中から一頭の虎が現れたのです

虎が言いました やい小僧 俺のエサになれ
ちびっこは おびえて 叫びます
きゃあっ お願い ぼくを 食べないで
俺はいま退屈で 死にそうなんだ それとも小僧 その体の他に俺を 喜ばすものでも 持っているのか
それならぼくの 着物をあげる
お父さんに貰った とっても大切な 赤い着物を
だから お願い
ぼくを 食べないで

釣れますか？
ア
ア
ア
ア
いやー……
さっぱりだ
ガリッ
ア
ア
ア

それがさ おかしいんだよな 魚の影は見えるのに
なんで一本もかからねえかなあ…
……
天気の良い日がつづきすぎたのでしょう
?
このところの陽気で水草や虫は殖え魚たちは満腹しきっています
腹を空かせぬ魚が相手では釣りは成り立ちません
ふーん…
で
釣れたのか?
おまえの方は

江土城内や主要な寺社に潜入の痕跡をつけました
真田の手先がいれば最初に察知するはずです
そっかあとはアタリ待ちだな…
密厳さま胸冬さまに協力をお願いしましょう
あん？
江土の人口はこの数年で急増し既に三十万を超えています密厳さまの眼力をもってしても敵の判別は至難
隠れた敵に対抗するには情報が必要です
おいおい…何いってんだよいきなり
今更どのツラさげて家に帰るよ？だいたい
胸冬はまだ子供だぜ協力ったたって…
密厳さま！
妹君を思いやるお気持ちはわかりますですが
せめて城内の様子だけでも…

いいか
真田の化物どもは俺がブッ殺す!
余計な真似して足ひっぱるんじゃねえぞわかったか!

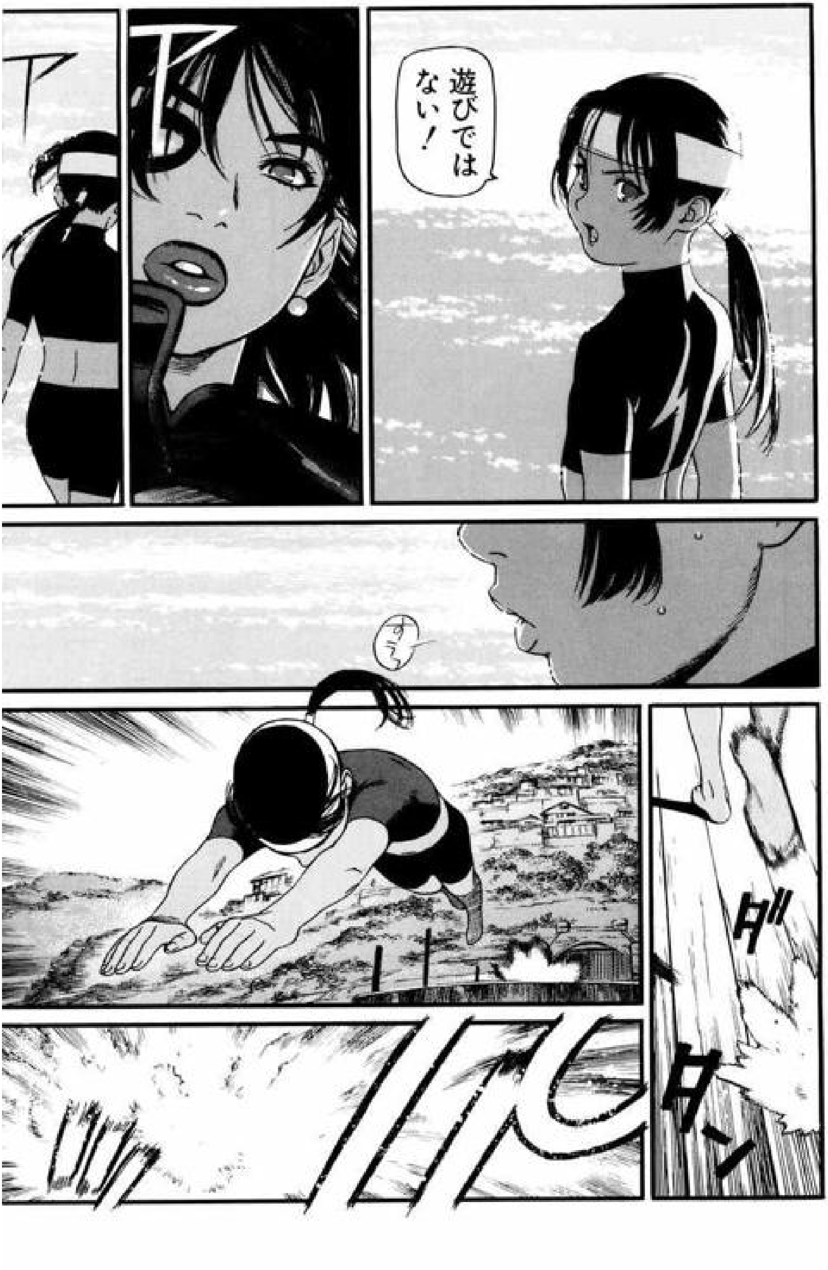
ばっ
ザァァァァア
ほらっ!
わかったら もう一回 餌まいてこい
ガシッ
釣れなくて イラついてんだ 俺は!
…はっ
アアアアア
承知 致しました
バ
チャ

だっ
大丈夫ですか朱膳さまぁ
やっぱり……
これは水路ね
三年前に忘れられたものだわ
三年前？
そう… 夜寒郎が来る前の話だったわね
江土城で大火があったことは知ってるでしょ？
その後の城内改修に際して古い施設がいくつか放置されているの
この水路もそのひとつ…… きっと偶然駒千代さまの目にとまったのね
夜寒郎！
あ
はいっ！

私はこの中を探ってくるわ ——ただし
半刻待って戻らなければ皆を呼びなさい
それ以上は祠千代さまの安全に関わる いいわね！
わっ わかりました 朱膳さま お気をつけて！
釣果はいかがか？
いやー それがさっぱり
見込みなしな感じで…
左様か…では
ここで泳いでもよろしいか？
え？

泳いでよろしいか?
いや まあ いいけど…
ありがたい では失敬する?
って おい!?

まだ春だぞー！
よい！夏までは待てん！
ダッ
タッ
タ
てゆーか子供ひとりで水あそびはあぶねーぞ
チュ…
ヒュ
!


遊びではない！
ダ
タン

……
遊びじゃねえよな
誰だって…
あれ？
長えな おい！
ザガッ
まさか……
グッ

ぶっは
ごほ げほ ごほ
ぶあっ
……あー…
まさかとは思うけどおまえ
カナヅチ?
ごふっ うむっ…
実をいうと ごほっ
水泳は初めてだ
おまえバカか!
泳げもしねえでなに颯爽ととびこんでんだ
バカとはなんだ!
泳げないから練習するのだ当然であろう
ひとりでやるなつってんだよ だれか泳げる奴連れてくりゃいいだろ!
それができたら…
…
できたらよいのだが

家臣が皆
言うのだ
水泳など
危険です
おやめ下さい
それが
御身のため
です…と
だから
わしは
ひとりで
やらねば
おぬしには
感謝する
おかげで
助かった
あとで
礼をしよう
わしが溺死して
おらねば…な
……ちぇっ
とんだ大物が
釣れちまった

やけに野良犬が目につくと思ったが…
ちがったらしい
飼い主はだれだ？
武田の残党かそれとも蜂須賀か…
いまどき江土城をかぎまわって何をするつもりか知らんが
悪いが俺たちが先約だ さっさと出て行ってもらおう

狩りにきた だけだ
三年ほど 前から…
たちの悪い 野良猫が うろついて いるのでな
あたり かまわず
クソを まきちらす
ははっ
ガッ

なるほど野良犬ではないらしい
少なくとも
江土城の番犬どもよりは…
メキッ
よほど鼻が利く！
!?
チチチチチ
チチチチチチ

うがぁあっ
忍法 叩独楽（たたきごま）
ビビイイッ
戦術暗鬼 豹牙（ひょうが）！
我が主の名を知りたくばその牙で問え！
オオ
ブチッ
ガリ

はっ
はあっ はあっ はあっ
あーダメダメ!
そうじゃねえって言ってんだろ
ぶはっ
ビビってちぢこまるから沈んじまうんだ
胸だよ!
グイッと胸ェ張ってみろ! そうすりゃ浮かぶからよ
そっ
そうは言っても…
ぐい
あ

ドッ
パァン
うわぁあああ
ほらほら
がんばれー
死にたく
なけりゃあ
胸を張れ
――っ！
ゴプォ
……こっ

殺す気かっ!!
まったく…
はら
泳げぬ者を放りこむなど非常識にも程がある!
はらはら
こんな無理押しで泳げるようになるとでも…
はらはら
……
帰る!
わしは忙しいからな今日はこの位にしておこう
礼は?
知るか!
ビス
ビス
えー?
それじゃ約束がちがう…

おいっ ちょっと待て！
なんだ未練がましいぞ！
バカ！そうじゃねえよ
ダン
ダン
ダ
ばっ
わっ!?
ヒュッ
ゴッ

おう
豹牙
おまえも
水泳?
みつっ…
ぶはっ
パッ
密厳さま
お気を
つけて!
……
どうやら
こっちも釣れた
みたいだな

きさっまッが
かいぬしッか
いぬのしつけッ
がわるいッぞッ
フフフ
ズシャ
ズシャ
ズシャ
しつけが悪いってよ
はあ…
ぷはっ!
いったいどうした…
見るんじゃねえ!
ぱっ
ぶっ!
さがしたいろッ
いろ
ききたいことがあるかッ
らなッ

バーカ
わ

ドカ
わかって
ねえな

捜してたのは…
メリ…
カ──ッ

俺の方だ
あ

しまった…
お見事です 密厳さま
見事じゃねえよ！
名前も訊かずに斬っちまったら後が続かねえ
いえ 充分です
奴の足跡は概ねつかんでいます 探れば仲間もいぶり出せるでしょう…
それより
窒息しています
ばた ばた ばた
あ
祠千代さま!?
は
は
ぶっは！
はらはらはらっはっ
わりーわりー
また殺しそうになったわ
！

なに
おまえら
知り合い？
いえ
知り合いと
いうか…
そのお方を
ご存知ない
のですか!?
うん
密厳さま！
桐千代さま
です！
秀只さまの
ご令息亡き今
ただひとり将軍位
継承者たる地位に
おられるお方です
ア
ア
ア
…
それじゃ
おまえが
蝶丸と鳥千代の…
おい!?
ちょっと
待て…

!!
密厳さま…

ゴッ
まったく…
驚いたぞ
てめえ…
オ
オ
オ
オ
オ
オ

隻眼獣ミツヨシ第一巻　主要登場人物　その一

まったく驚いた…
既に
祠千代さまをとらえていたとは
その手際！
確かに只の野良犬ではありえん
祠千代さま！
態度を改めねばならんな
ならばこちらも

虫飾士
覚獣像が
相手をする
名のれ！
女!!

ゴ
キッ

!!
わあっ
くっ
があっ…!

名のれ？
つれない言い方じゃねえか
こっちは三年間も
ずーっと待ち焦がれてたってのによ
きさまっ……

!
密厳さま あれは…
豹牙 ひっこんでろ！
忍法 爆丸

ドドド
ドド
ドドドド
ああっ…
オオオ
!
そうか
きさま
やはり…

柳生柔兵衛(やぎゅうじゅうべえ)密厳(みつよし)
待ち焦がれたぜ
てめえらをブッ殺せるこの日をな！
!!

…あれは
火事!?
どうして川辺で…
!
まさかっ
祠千代さま!!

な
オ
なに!?
ばかな!?
何が起きた…!!
くっ

ばかな!!

ズパァァァァ
ドドドッ
ぐっ
がはっ…
はっ はっ
はっ
何て奴だ
躱すだけならばともかく
超音速の火球を
刀身で打ち返すだと!?
これが柳生…
『隻眼』の威力か!!
じゃ
そろそろ死ぬか

ぐっ… かあっ!!
往生際が…
わりいぞ!!
ごほ

……
そうか
くそっ…!
あっ…

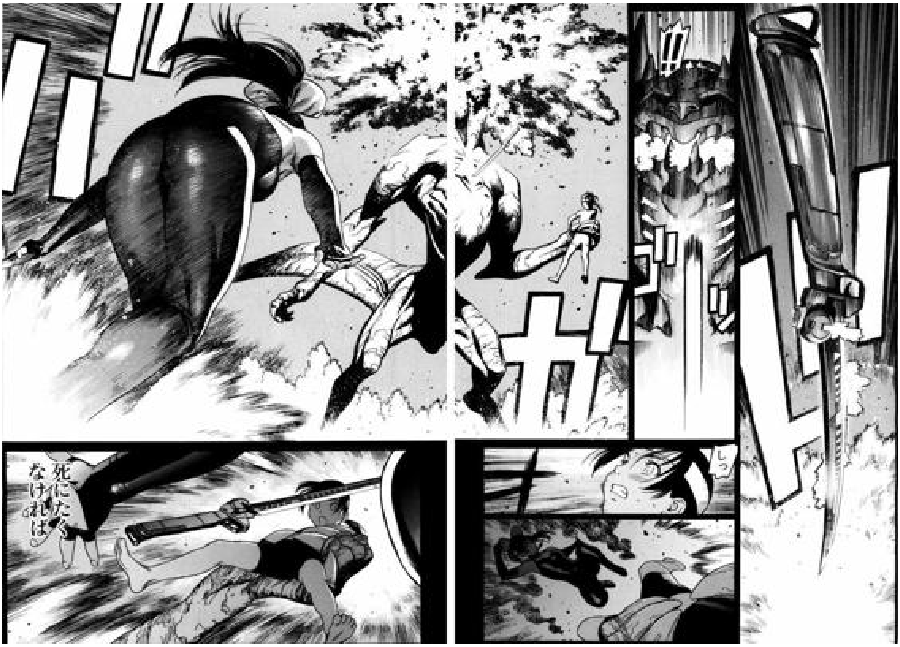
……何してんだよ？
わからんか動くな…という意味だ
あん？バカかおまえ
将軍だか何だか知らねえが
俺とそいつはアカの他人だ
ザッ
人質とってるつもりなら見当違いってもんだぜ
どうかな…？
カッ

うわぁあっ
ザザザッ
……
ゴ
パッ
くっ
ぼふ
ああっ

ズ
かっはは
ははは
どうした！
また剣先が
鈍ったぞ
やはり
柳生……
所詮は
将軍家の
提灯持ちか
飼い犬根性が
骨まで
染みておるわ
さて
次は
おすわりでも
してみるか…
チャプ

―ほう
これはこれは…
飼い犬らしい感心な姿勢だ大いに結構!
去ねい!!
その通りおまえなどアカの他人だ
いつまでもつきまとわれては迷惑でかなわん
さっさとどこかへ
胸だ!
え?
覚えてるか? さっき俺が
教えたこと…
…あっ!
カッ

何の話か知らんが…
安心しろ!
キュイイイイ
禍千代さまは我らにとっても大事な手札
そう手荒には扱わんさ
びっ
ビビるな……!
台詞を返すが
そろそろよかろう
プ
チィー
死ね!!
キュッ


!!
しっ
死にたくなければ

胸を張れ!!

あっ
ぴくっ
おまえっ バカっ
かまうなと言うのに…

上出来だ！
じっ
パキ
パキ
じゅうべえええ〜〜〜〜!!
メス犬がこっ
コケにしおって
このままで済むとでも……
豹牙！

はい
後で刀拾っとけ
あとこいつの服
承知しました
おっ
おい！
勝手に帰るなきさまっ
勝負はこれからだぞ！
…って…
ザッ
あり？
見るんじゃねえ！
ぷっ

バ
ガッ
まっ

祠千代さまっ
胸冬……
ご無事ですか？いったい何が……
この遺骸は？
それに先刻の爆発……
密厳に
何があったんです!?
え？

密厳に出会った

キュ

せいっ
やっ
ふっ

お見事です！
難しい型をよく習得なさいましたね
嗣千代さまのご上達の早さには驚くばかりですわ
この調子ならば
次回から新しい型を始めてもよいかと…
胸冬
はい？

わしは強くなれるか？
もちろん！鋼千代さまは私などより剣の才がおありですもの
そっ
それは言いすぎであろう
いいえ
私も今でこそ師範だなんて呼ばれていますけど…
小さい頃はそれはもう覚えが悪くて
いつも姉に叱られて泣いてばかり
少なくとも
鋼千代さまとは比較にならない不出来な門生でしたのよ
ふうむ
……
姉とは
密厳のことか

こっ
この前は悪かったな勝手に稽古をぬけ出して
えーと
おまえに余計な世話をかけたであろうことは充分に
祠千代さま!
私だけではありません多くの臣下…
いえ全ての民があなたを頼り慕っているのです
軽はずみに外出などして
御身を粗末になさることは許されない
それが人の上に立たれる方の責務です!
よく言ったわ胸冬
え?

唯常（ただつね）
その通り 絹千代さまは 私たち皆の宝
稽古の時限を 過ぎたのに
いつまでも 独り占めは いけないわね
ぱたぱたぱたぱたぱた
そーです ダメですー!
あっ…
いけない もうそんな 時間!?
…ずいぶん 親切ね 唯常
わざわざ それを 知らせに?
うわっ!?
ほら 絹千代さま 立って立って! はやく しないと
お花の時間が はじまっちゃいますよー!
まさか!
あなたに話が あったから そのついでよ

んじゃ!
桐千代さまはもらっていきますから
朱膳さま慈狼さま
ごきげんよー♡
ええ あとはよろしくね夜寒郎
あ
それから桐千代さま
明日は逸刀流のお稽古ですよ
お休みしちゃイヤですからねーっ!
それで
ん?
それで何なの 私に話って…
知ってる?
!

帰ってきた
そうじゃない
密巌が
あらー
ずいぶん淡泊ね
実の姉のことだってのに
……
そういう噂は
きいているわ
密巌はっ
とうに心陰流を
破門された者
私とは
もう関係が
ないわ

コ…
まっ
そりゃそうだわ
三年前に起こした
騒ぎを考えれば
ばっ
縁を切られて
当たり前…
それどころか
死罪に
ならないのが
不思議な位
だものねぇ
……
何度いえば
わかるの!?
あの大火は
姉のせいでは
ないと!
あれはっ
あれは…
ほら
やっぱり
ムキになった
わかってる
のよ
あなた密厳に
感謝してる
なんだって

密厳と像矩が消えたおかげで
あなたが御指南役になれたんだもの
心陰流では三番手の分際でね
私はこう思うの
密厳がまた何かしでかしてくれないかってね
そうなれば今度こそ柳生家ものうのうと居座ってはいられないし
嗣千代さまも
これ以上三流の剣術など習わずにすむわ

御流儀は逸刀流御指南役はこの慈狼右衛門唯常
嗣千代さまに必要なのはそれだけよ

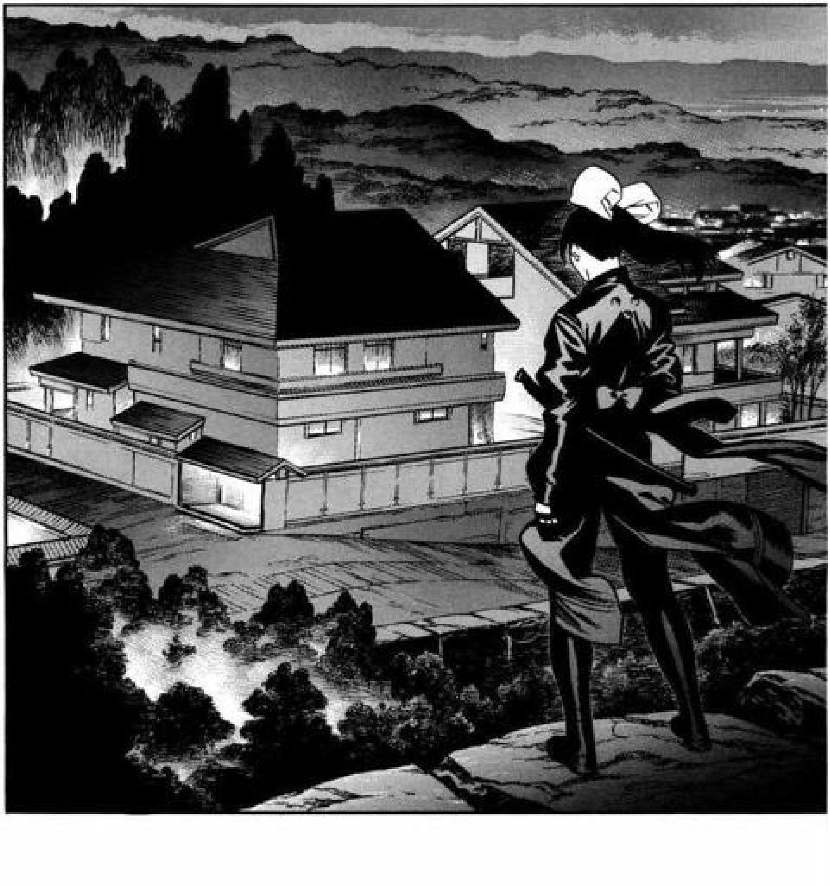
以上が
朱臘の報告を基にとりまとめた事の概要です
ふーむ……
して但馬守（たじまのかみ）
はっ

報告にある その――…… 獣のような 死骸というのは どうした?
はい
朱膳が現場に 着いた当初は 原形を留めて おりましたが
その後 急速に崩壊し 塵灰と化した とのこと
ほとんどは 河水に流され 回収は不可能 でした
これは 私見ですが
三年前 この 江土城を大火が 襲う前後に 目撃された 獣の如き異形
今回の件には あれを想起 させるものが あります
ここは 慎重を期し
今期の 御奉納の儀は 延期なされるよう 進言いたします
ざわっ
ざわ ざわ

ありえんよ
本多どの 獣の如き 異形？
はっ！
バカらしい そんなものは 戦時中に 流行した 奇聞怪聞の類
とうに終った 乱世の遺物だよ 時代遅れも はなはだしい！
要するに
根性の問題だな
根性ができて おらんから 兵たちの間に そのような 噂が流れる
まったく最近の 若いもんは…
いやいや 本多どのの おっしゃる通り
なっておりませんなあ
ははは
上さま
ここは 諸家にあたって 警備を増員 すれば充分かと
いかが でしょう？
……ん—…
いいんじゃ ない？

お館さま
…隼か
ご苦労さまです
いつもながら
皮肉はいらん
そちらの首尾は?
例の獣についてはまだですが
密厳さまのご所在はわかりました
というより豹牙の奴がこれみよがしにうろついておりまして
そうか…
後で会いに行く案内しろ
いえ
その必要はないでしょう
すぐに密厳さまから御本家へおいでなさるかと
?

きゃい〜〜ん♡
すてきすてき 祠千代さま すてきーっ!
先週に つづいて 今日もまたまた 傑作名作大放出
先生 困っちゃい ますぅ〜ん
なんて ゆーか
祠千代さまの 繊細な感性が 時代の空気に シンクロして 独自の世界観を 醸しだして いますわ〜〜〜♡
はあ…??
この若さで この才能 祠千代さま ってば
くた〜〜
そらおそろし すぎ〜♡
きゃー きゃー
家元 しっかりー!



スト・
よう
チャキ
チャ
チャ

くっ
うぬっ… 何の つもりだ!
いきなり 主君に刃を 向けるとは
無礼者め 血迷ったか
血迷ってるのは おまえだ豹牙
ぼくが いつ主君に 刃向かった?

きさまっ……
言っておくが！
密厳さまはお館さまから勘当を宣告されているんだ
ご息女とはいえ
無断で邸に侵入すれば排除されるのが当然のこと
……というか
一番の問題はおまえだよ豹牙
ぼくら"山の者"は柳生の家門と契約しているんだそれを…
令嬢の放蕩を止めもせず一緒になってほっつき歩いているんだからな
暗鬼の分際で自分の主人を選べるとでも思っているのか身の程を知れ！
……
放蕩だと？
隼
おまえの目はまるで節穴だな

柳生は武門 つまり
我らが仕えるべきは あくまでも 武人としての柳生！
私はその 使命に従って いるだけだ 少なくとも
政権争いに 現を抜かす 老人に仕える 必要などない
呆れたよ まったく
背約だけに あきたらず
よもや お館さまへの 侮辱まで 口にするとは
豹牙！
どうやら おまえは
死んだ方が 良さそうだ
やって みろ！

やめんか！

親父…
隼 もういい さがれ
お館さま しかし…
はっ
承知しました
おまえもだ 豹牙
あっ はい

ちっ
!
パシッ
用向きは知ってる
金をねだりにきたんだろう?
まったく…
自分から家をとびだしておいておまえの面の皮も相当なものだな
てゆーかあっさり渡す方もかなりの親バカだと思うぜ
しかたねよ
こいつら勝手に全部言っちまいやがるから
人の親子ゲンカ横取りすんなってんだよな
うぐっ
ちがいない
実は会うまで説教のひとつもしてやるつもりだったんだがな
……
言いそびれた
ははっ
ふっ 困ったものだな
はは
ははははは…

戻ってこい 密巌
密巌！
正直言おう 人材が足りん
今は太平の世 とはいえ…
先の戦乱は あまりに多くの 命を浪費して しまった
この治世を 維持するためにも おまえほどの 武人を遊ばせて おくわけには いかんのだ
豹牙！
はっ…？

遊んでねえよ!

だれっ!?
そこにだれかいるのね!?
隼！きなさい
隼！何をしているの!?
しゅ…

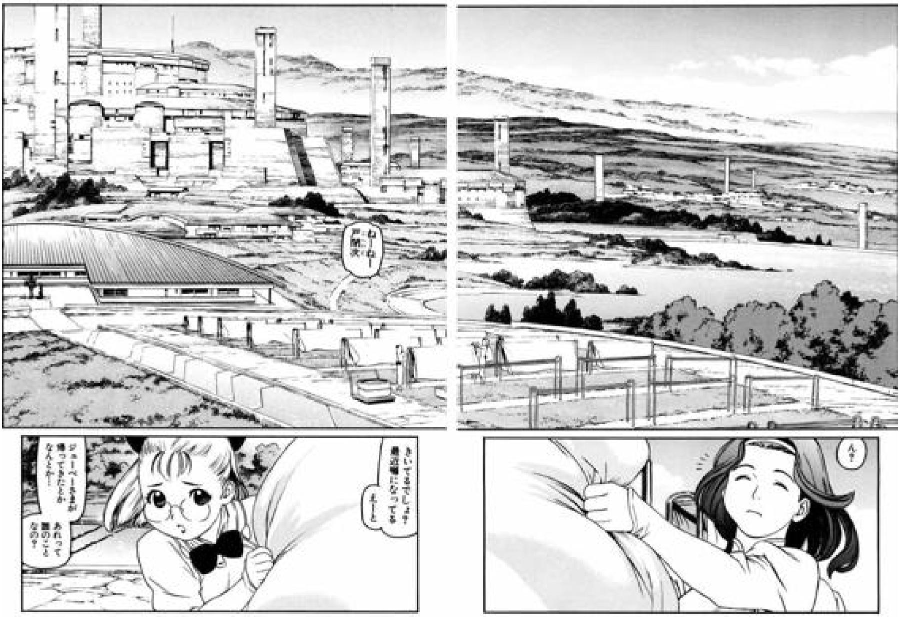
あっ
姉上！いっこちらへ!?
さっきこづかいせびりに
ついでにおまえの顔みときたくてな
達者にしてるか?
タンタンタンタ
はは はい！私はすごく元気で…
ははっ
唯常とケンカとかしてねぇだろうな?
まっ
まさかそんな…
みんなとても良くしてくれますもの
……
姉上…
ん?

おい…泣くことねえだろ
だって…だって!
とっても心配したんですよ!?
三年も
三年も私たちを放っておいて…
おっ
…ほんとに
変わらねえなおまえは
泣き虫で
やさしい胸冬だ

姉上!
姉上! 私も! 私も 連れていって ください!
……おまえな!…
泣きやんだと 思ったら 今度はそれか
三年前にも 言っただろ
やめとけって おまえまで 出てったら あの親父 本気で 泣いちまうぞ
かまいません! そんな ことより
姉上おひとりを 危険にさらす 現状をこそ 私は恥じます!
私とて 心陰流を修めた 剣士…
必ずお力に なってみせます
いざと なれば
胸冬!!

おまえはくるな
隻眼を開いたら
二度と前の自分には戻れねえんだ

きゅる〜〜〜ん♡
すてきすてき 馴千代さま すてき——っ!
先週につづいて
今日もまたまた 珠玉の名品猛連射
先生 超ビックリ〜〜〜♡
なんてゆーか
馴千代さまの 清新な視点が 既存の価値観に 鋭く切りこむ アンチテーゼの 問題提起ですわ 〜〜〜♡
はあ…??
ばっ


ねーねー
きいてるでしょ？
最近噂になってる
帰ってきたとか
なんとか…
あれって
誰のことなの？
ん？

あらあら ダメよ夜寒郎 そんな不勉強じゃー
ぷーっ！
すぐ先輩風ふかすんだからー
勿体ぶらないで教えてよー！
柳生柔兵衛密厳さま
柳生家のご長女で
心陰流剣術のご指南役だった方よ
えっ!?
でもご指南役って…
そっ
今は朱膳さまのお役目
だから三年前までの話よ
この江土城が…
大火に包まれるまでのね

当時は
そりゃもう すごい評判 だったわよ
若くして 心陰流を極め
将軍家指南役を おおせつかった 当代随一の剣士
誰もが羨む 時代の主役よね
それが
あんなことに なるなんて

突然に城を襲った大火は西の丸を焼きつくし…
何より
蝶丸さまと勘千代さま
二人の若君のお命を奪っていったわ
剣のお稽古をつけていた柔兵衛さまと大勢の臣下もろともに…
それから城内の修復や人員の補充があって…
夜葉郎もこの時入ってきたのよね
お世継ぎとして親戚筋から嗣千代さまが招聘されて
なんとか江土城は元の落ち着きを取り戻すことができたわけ
一年以上かかったわ
えーっ!?
それじゃそれじゃ
大事件じゃない!
その柔兵衛さま生きてたってわけ──!?
ん〜〜〜〜〜…
そりゃまぁ公式には行方不明って扱いだけど
ありえないと思うなーあの状況で生きてるなんて
やっぱりただの噂よー

わっかんないよーー！
万が一ってことも…
うわー なんか ワクワクするぅー
それより 夜楽郎
そろそろ 綱千代さまを お迎えにあがる 時間でしょ？
ここはいいから 早く行きなさい
慈狼さまを お待たせしたら 後が大変よ
平気平気 まだ全然 ヨユーよ
もーっ
また逃げられても 知らないわよ
あはっ
まさかー！
はっ はっ はっ
そんなにボコボコ 抜け道あいてる わけないじゃん
密厳さま

……んー……？
お休みのところ失礼します
その…ご客人がおみえです
客──？
んだよ朝っぱらから……
後にさせろ後に
いえそれがその……
もう朝ではないぞ密厳！
あ？

先日の
橋です

あの橋の袂におられるのをお見受けしー
というか私に見つかるのを待っておられたようなのですが
声をおかけしましたら密厳さまに会わせろとの強硬なご要求
なにせ相手が相手だけに断りきれず
この通りです
ぷはっ
でもよー
いいのか？若君がこんなとこウロついてて
良くはない
こっそり抜け出してきたのだ
マジ!?
城もずいぶんおおらかになったもんだなー

まったく！最近の近侍は何をしているのか…
うまうまのせられた奴が文句ぬかすな
で？
俺に何の用が…
密厳
わしを弟子にしてくれ！
水泳の？
いや剣のだ

剣って…
だっておまえ胸冬と唯常に習ってんだろ
これ以上何が要るよ
わしもそう思っていた
しかし先日
おまえの戦いを見てしまった
あの巨大な怪物をたやすく仕留める卓抜の剣技
おまえほどの使い手はこの世に二人とおらぬ
頼む！
わしに剣を教えてくれ！
バカ言え
あいつらが！
心陰流と逸刀流の看板しょってんだ
俺みたいなチンピラよりずっと強いに決まってんだろ

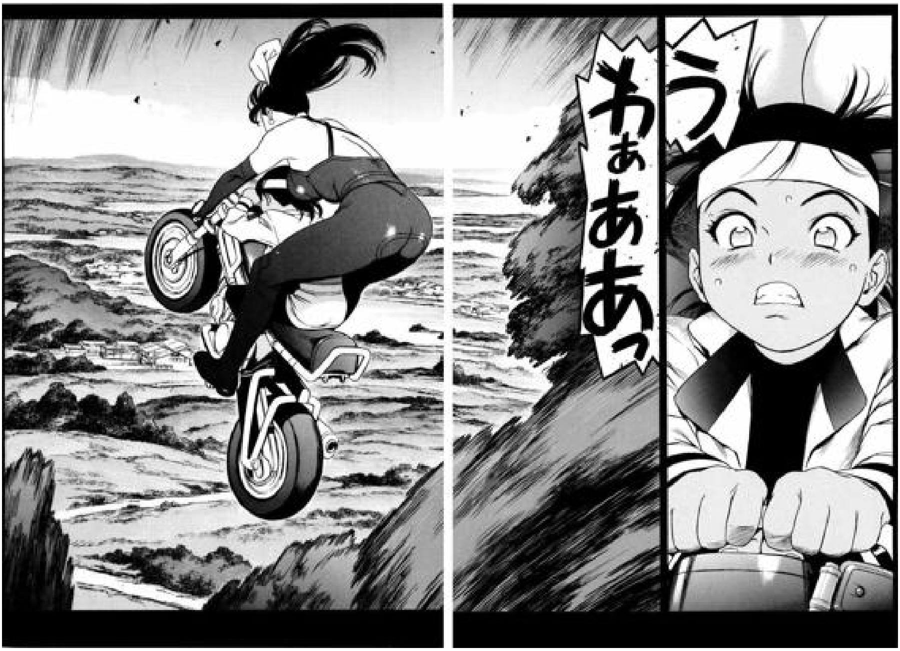
そっ
そんなはずはない！
そうなんだよ！
強くなりたきゃ
城に帰っていつも通り稽古しろ
それとな
あんまり城の連中に心配かけんな
…みっ
！

みろ!
この技の冴え
やはり
おまえは
チンピラ
などでは
な
ぶんっ
ああっ
ドス
バーカ!

このぐらいできて当然なんだよ！
ちょいと武術をかじってりゃな
この世に二人といない？
おまえが何人の剣士を知ってるってんだよ
大人をナメんな！
ぱっ
密厳さま
窒息しています
水泳でも
？

水泳でも良い…
わしに教えてくれ
頼む密厳
わしは
おまえのようになりたいのだ

あああ
唯常！
やめなさい
もう充分よ
邪魔よ
胸冬
何度も同じ
不手際をして…
口で言っても
わからない奴には
相応の教え方を
しなきゃダメなのよ
叱るだけが
教育じゃない
でしょう
夜寒郎はまだ
子供なんだから
子供
だから！
今のうちに
叩き直して
おくのよ
泣けば許される
と思ってる
その根性をね！
その
能無しの
せいで…
嗣千代さまが
どんな目に
あっているか
わからないの
よ！


う
わぁああっ

あんまり
しゃべんなよ
舌かむぞ
わっ
うわっ
わあああっ
すっ
ガガガガガ
少しはっ
道なりに
走ったら

どうだ！
本当に…おまえといると
はあっ
はあっ
はあっ
どうしてこう心臓に悪いことばかりなんだ
まったく！
はあっ
近道だからな
デコボコが嫌なら
道なりに行きゃいいんだぜ
若君？

ちょいと
おふたりさんっ♡
そーそー
そこの人たち
ちょいとお魚
見てってよー
魚ー？
悪いけど
腹へって
ねぇから
ちがうよー
食べる魚じゃ
なくってー
飼うやつ
だよー
きれいなの
かわいいの
いっぱいよー
見てってよー
ねー
……
おい!?

ねっ!
みんなかわいいでしょー?
うちの生簀であたいが精魂こめて育てたんよ
ふーむ
むっ!
あれは!?
え?
あの魚は何というのだ!?
あー
あれねー白銀魚(しろがねうお)っての
見るの初めてー?
うむ これはまた…
美しい魚がいるものだな
えーと…
おまえこれ見るの初めて?
ん?
どういう意味だ
いや ちょっと

昔はいたんだけどなぁ…
ほら
道場前の濠に白いのが
それは今でもいるが…
えっ
ガタ
なにっ!?
あんなに大きくなるのか!?
買う!!
買うぞ! この魚を売ってくれ
まいどー!
一匹十銭になりまーす♡
買ってくれ!
おまえな…

不思議だのう
こんなに小さなものが
いつかはあんなに大きくなるのか
不思議だのう
楽しみだのう

おまえさ　泳いでどうすんの？
なに？
あの時
何のために泳ぎの練習なんかしてたかってこと
けっこう苦労してんだろ　城ぬけだすのにもさ
それはその…　秘密だっ
え——!?
なんでなんでー　いいじゃん教えろよー
誰にも言わねぇから
な？
本当だぞ！
本当に誰にも言わぬと約束するか!?
ああうん…
そこまで言うんなら
よし！
いいな誰にもだぞ
たとえば……

胸冬にもだぞ！
いいぜ
密厳さま

外套をお持ちしました
夜風はお体にさわりますどうぞお召し下さい
鋼千代さまもそのままでは……
なあ豹牙
はい?
おまえさ夢ってある?
夢…ですか
そったとえば
こんなことがしたいとかこんな風になりたいなー…とか
ありません

でもほら
なんか
あっただろ
子供の頃
とかさー
いえ
私は暗鬼
ですので
ばっ
もういい！
俺は
用があるから
こいつらの
面倒みとけ！
はっ
承知しました
夢が
あるのだ

わしはいつか船に乗る
船に乗って海に出て
ずっとずっと遠くで――
見たことのない土地や見たことのないものを見つけるのだ
その前にやはり
船乗りがカナヅチではまずかろう?
だけどおまえ
そんなもん本当にあるのか? ずっと遠く…
海の向こうまで行って何もなかったらどうするんだよ
それは…

行ってみなければわからん!!

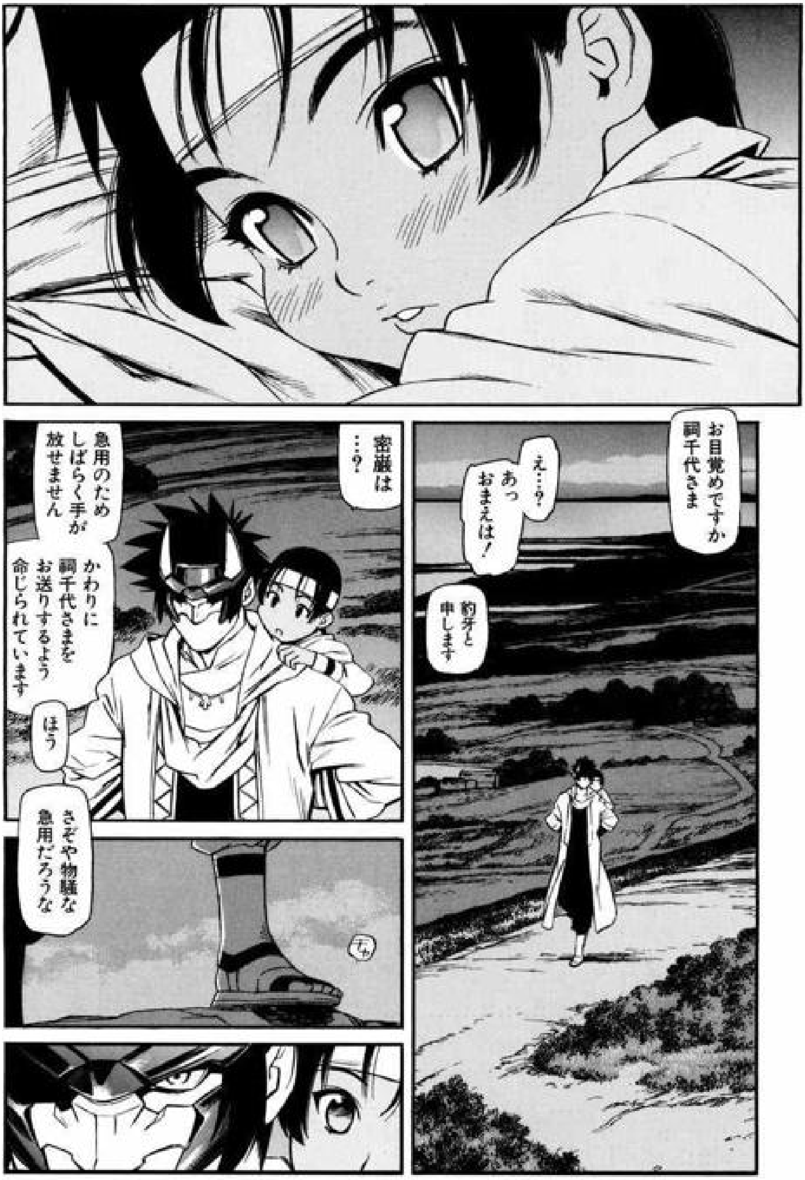
きいてるよー
たしかえーと…
柳生柔兵衛さん?
なんかあたいらのことかぎまわってる女がいるってね
奇臓の話じゃー
鬼を殺しちゃったらしいじゃん
ペチン
すごいねー ほんとに刀一本で?
尊敬しちゃうなー
そんで……
チャポ…

何の用?

とりあえず全部話せ
全部って？
真田のバケモノ…
おまえの仲間は何匹で今どこにいるか
全部白状しろ
えー？
けっこー欲ばりだねー
それで何？全部話したらあたいはどうなんの？
もしかして見逃してもらえたりしてー
バーカ

そんなわけねえだろ
身の程を知りやがれ おまえらバケモノは
一匹残らずブッ殺す
だから素直に吐きゃあ
少しは楽な死に方させてやるってんだよ
チュルンッ
おーこわ
でもね
身の程がわかってないのは
あんたの方だと思うよ

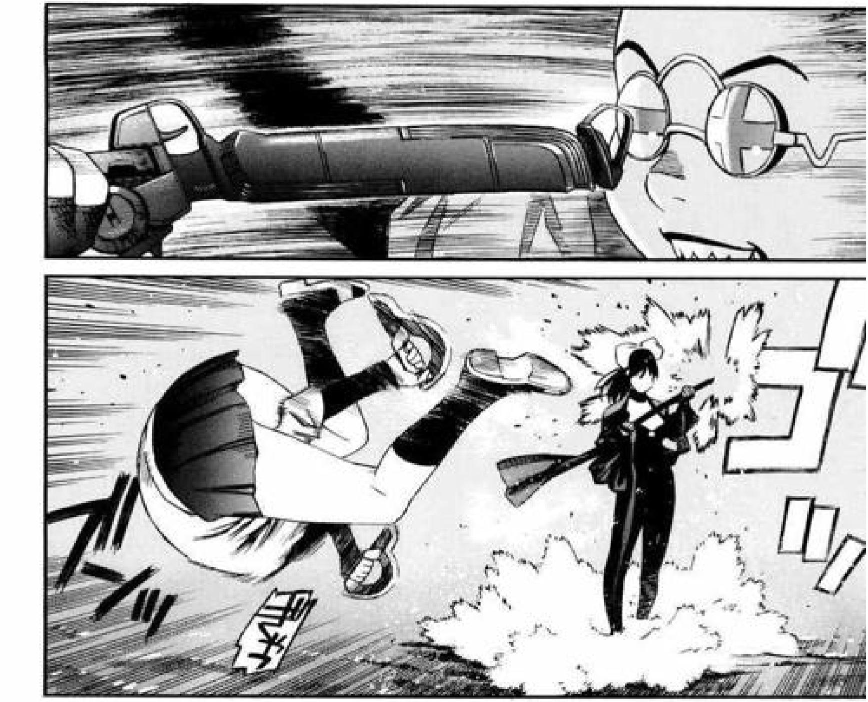
!
ドドドドド


お目覚めですか 嗣千代さま
え…？
あっ おまえは！
豹牙と申します
密巌は…？
急用のため しばらく手が放せません
かわりに 嗣千代さまを お送りするよう 命じられています
ほう
さぞや物騒な 急用だろうな

戦術暗鬼
隼（しゅん）
祠千代
さま
お迎えに
あがりました

ずぶ濡れ
じゃねえか
それで
おまえ

あーあ
ったく……


まんまと罠にかかったな！…
とか言いたいわけ？
くっ…

ザッ
くくっ!
くくく くく… 罠!?
やっぱりわかってないねえあんた!
ザザー
三年前とはちがうんだよ
ここはもう
あんたの知ってる江土じゃない
ノコノコ街へ戻ったその時から
あんたはとっくにあたいらの術中にいるのさぁ!

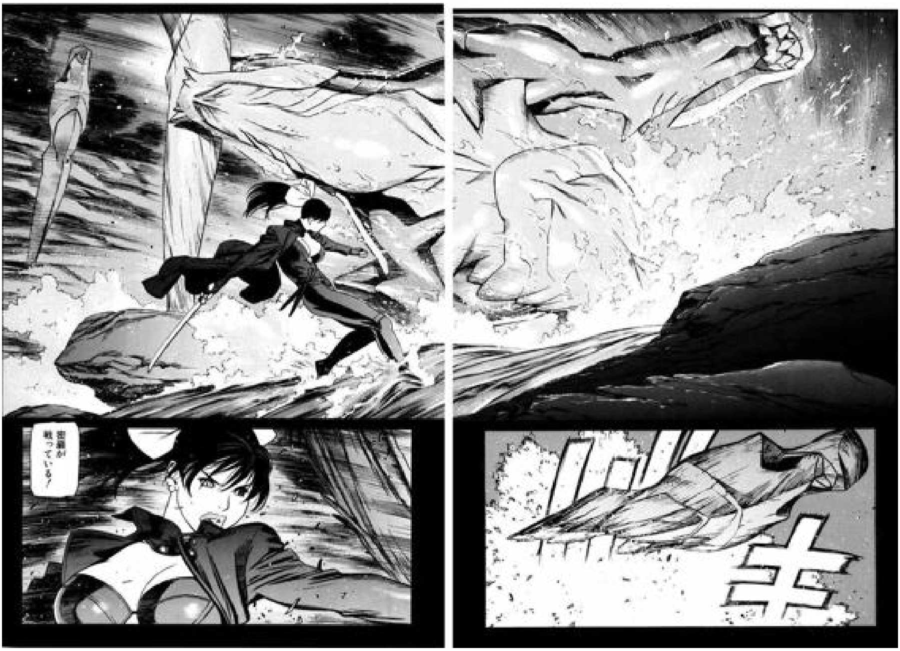
忍法抜井戸

!
なんだ……!?
くそっ
何だってんだ あの野郎
どこに隠れやがっ……

虫歯士が ひとり 由利咬顎助!!
あたいの生贄へ ようこそ!

生贄？
ちがうぜ ここは おまえの…
俎板だ!!

会わせてくれ
はっ…?
密厳に会わせてくれ
桐千代さま!?
ですからっ!
申し上げた通り密厳さまには手の放せない用事が
わかっている…
わかる



いいじゃないか
なに？
若君たってのお願いだ
密巌さまの所へ案内してさしあげればいいだろう
隼…
密巌さまがおられるのは遊び場ではない
戦場だ！
若君をお連れしてよい場所と思うか
お若いとはいえ！
きさま正気か！

晴千代さまは
武門のお世継ぎ
多少の危険は
ご承知のはず
なにより
若君もまた
心陰流を学ぶ
門生の一人だ
戦国最強を
謳われた
柳生の剣
その深奥に
触れてみる
のも
損には
ならないと
思うがね
お互いの
ために
……

ドッ

拍子抜けだね
柳生柔兵衛!
三年前
大火の中で謀殺された若君たち
その仇を討つため
地位を家督も捨てて復讐に挑む剣士がいる
そう聞いてたんだけどね

話がちがうじゃないさ!
さぞや模範的なサムライだろうと期待してたら
品の悪いアバズレ女が一匹
あたいの好みじゃないね

がっかりだよ！
!?

ズ
いつまで
ガ
ガ

ド
かくれんぼに
興じてやがる
さっさと
決めろ
自分の
死に方！
カッ

「隻眼」とは
心陰流を修了した剣士にのみ発現する変異で
別名を『真実を射抜く瞳』とも呼ばれる超感覚です
その実態を言葉で説明し尽くすことは困難ですが…
かって御前試合の席において
開祖・柳生石舟斎は風に舞う木の葉の着地点をことごとく予測してみせたとの記録が残っています
五感・直感洞察力見切り—
剣士に求められる全感覚が極限まで高められた状態と言えましょうか

隻眼の前では小手先の幻術や隠形は全てが無力
力を持つのは
修練によって磨かれた剣技のみ！
！

ズカ
なるほどね…こいつが
音に聞こえた隻眼の力かい
すく みてたよ
でもね

!
くっ…
はははははっ！
気をつけな！そいつの体液は油よりもよく燃えるよ
お望みとあらば…
いいよ！かくれんぼはもう終わりさ
それならそれで…

忍法 糞船
ここからは
あたいの花火につきあってもらおうか
柳生 柔兵衛

ははっ

きゃはは
はははっ
見て見て
この色!
この光!

あたいの
自慢の花火を
見てよ!

キッ
キッ
花火ってさあ
はかないよねえ
ピカッと光ってパッと消える
見てるとなんか悲しい気持ちになってさあ…
そこがいいんだよねえ
ガッ

だからかなあ
江土城が格別だったのは
門も塀も庭の木立も
全てが明々と燃えさかって
その中でさあ
散っていくんよ
お花みたいに艶やかな
若君たちの命がさ
きれいだったなあ

あ
わあっ
ドォ

くっ…
うおッ

そうか…

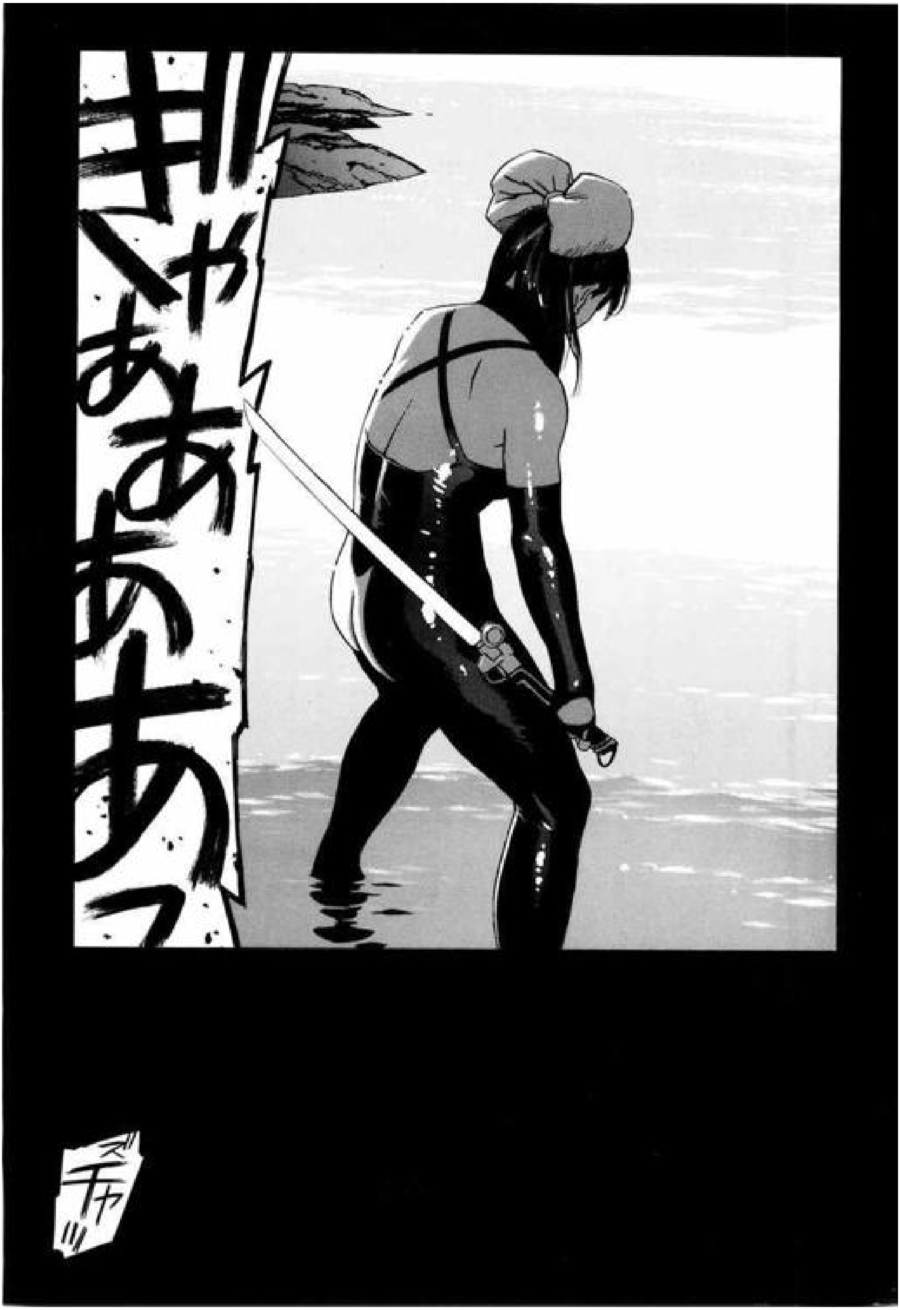
ゴポン
ゴォォォ
!

ヒュ
お返し
ザパァァァ

やっとわかった
あんたの匂いさ
サムライにしちゃ変だと思ったけど……
さっきわかったあんた
あたいらと同じ匂いがする
――要するに
こいつは仇討ちじゃない
嫉妬だね
大好きな若君をあたいらに横取りされてヤキモチやいてるんだ
くくっ…残念だねえ
いってくれれば仲間に入れてあげたのに…
決まりだ
あり?

おまえ
血ヘド吐いて死ね
まだ言うか!
ク!

秘剣焼鍼


ギャあああああっ
ズチャッ

痛いい!!
痛い痛い痛い
痛いよお〜〜〜ッ!

があッ　がああ
あいッ　いッ
ひいいいいッ
死んじゃう　痛くて　死んじゃう
だれかッ
だれか　助けてよ〜〜〜

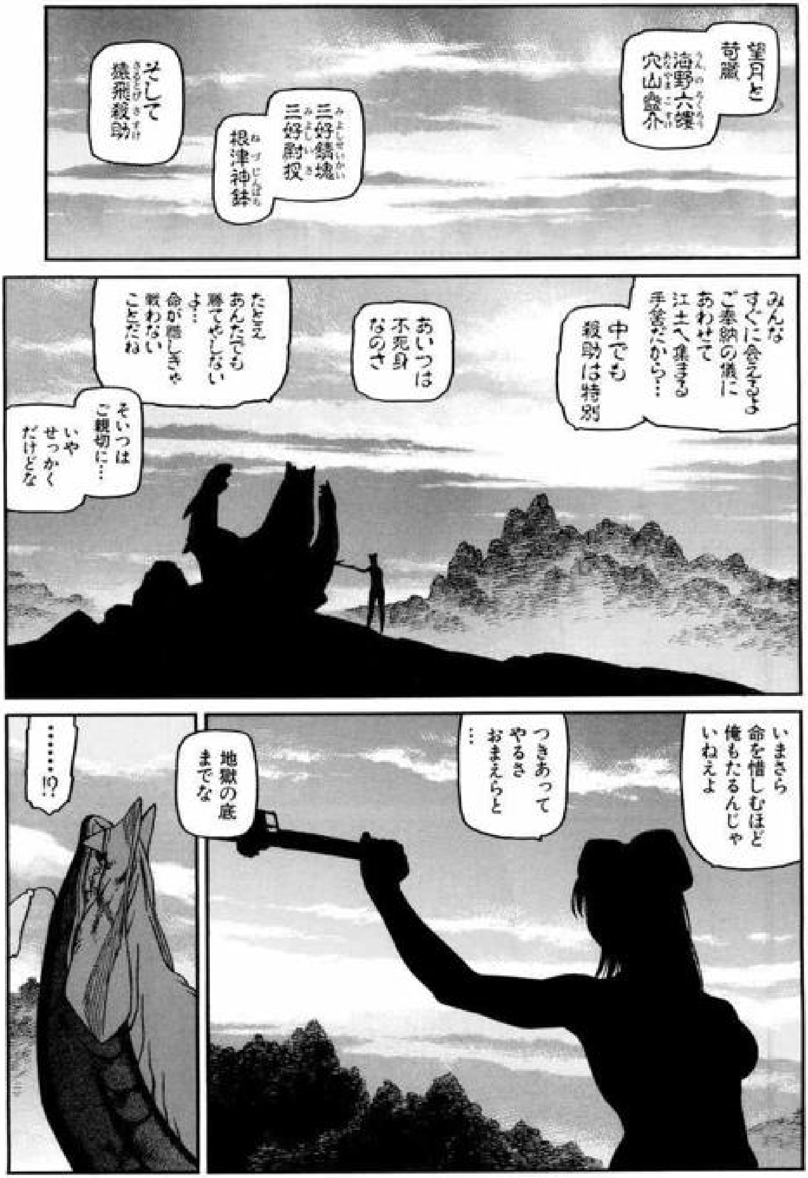
ズカ
うるせえぞ
バケモノ
で
気が変わったんじゃねえか?
そろそろ

…ほっ
本気なの？こんなことして…
あたいら出幽士を敵に回して絶対ただじゃすまないんだから…

ゴぼおッ
あ——？
ぶみぇええッ
そうじゃねえだろ
人の話きいとけよおまえ
え？
ゴほゴほおッ！
俺さっきなんて言ってた？
ドポポポポ
わっ
わかっ…わかったよ
言うよ！
あたいの知ってることぜーんぶ教えたげるから
そしたら助けてくれるんよね
ねっ!?
さっさと言え！

望月効宰と霧隠苛蔵
この二人があたいらのまとめ役さ
望月はよく知らないけど…
苛蔵はもう江土に来てるよ あやいや党は苛蔵の指図で動いてたんだ
江土のどこだ?
それは知らない…
いや本当さ!
実をいうと会ったこともないんよ!
何だと?
だっ
だからこういうことさ
苛蔵は人の心を操って自由に使役する…
そういう忍法をもってるのさ
だから毎回ちがう人間が命令を伝えにくるんよ
いや苛蔵だけじゃない
戦を始めるまであたいらは詳しい作戦もお互いの顔さえほとんど知らされない
忠幽士ってのはそういう関係なんよ

さっぱり わからねえ
おまえら 何なんだ
真田の残党 じゃねえの か？
ちがうね
あたいらは 契約で動く 忍者とは ちがう すべては 腹に巣くう 虫が決める
『虫を飼い 虫に仕える 虫幽士』
なんとなく わかるんだよ あたいらは
生まれつき 自分が虫を 飼ってること
そして より大きな虫を 飼ってる者には 逆らえないって ことがね
戦乱の頃は 幸村さまが たまたま一番 大きな虫を 飼ってたのさ
これ以上は 言葉じゃ説明 できないよ
どうして 蝶丸たちを 殺した？
命令された から
どうして 鋼千代を つけまわす？
命令 だから


望月と 苛蔵 海野六蠼(うんのろくろう) 穴山盎介(あなやまこすけ)
三好鎮塊(みよしせいかい) 三好尉授(みよしいさ) 根津神鉢(ねづじんぱち)
そして 猿飛殺助(さるとびさすけ)
みんな すぐに会えるよ ご奉納の儀に あわせて 江土へ集まる 手筈だから…
中でも 殺助は特別
あいつは 不死身 なのさ
たとえ あんたでも 勝てやしない よ… 命が惜しきゃ 戦わない ことだね
そいつは ご親切に…
いや せっかく だけどな
いまさら 命を惜しむほど 俺もたるんじゃ いねえよ
つきあって やるさ おまえらと …
地獄の底 までな
……!?

ちょっ…ちょっと!
あたいは全部話したよ早く助けてよ!
あー?
だから人の話聞いとけってんだよ俺さっきなんて言ってた?
さっきって……?さっ
……………
じっ
死ね

ドカ ドカ ドカ ドカ

ド

チャ・・

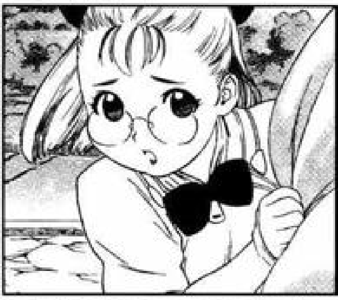
みつっ…
飼千代

俺みたいに
なるな
二巻に続く

隻眼獣ミツヨシ第一巻　主要登場人物　その二

豹牙
ひょうが

隼
しゅん



夜寒郎
やさぶろう

戸閉次
こへいじ

香只
ひでただ

筧獣像
かけい じゅうぞう

由利咬顎助
ゆり かまのすけ

DengekiComics

隻眼獣ミツヨシ①

2003年3月25日　初版発行

著者	上山徹郎
発行者	佐藤辰男
発行所	株式会社メディアワークス　〒101-8305 東京都千代田区神田駿河台1-8 東京YWCA会館 電話03-5281-5215(編集)
発売元	株式会社角川書店　〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3 電話03-5238-8605(営業)
装丁	亀口和明
印刷・製本	図書印刷株式会社

©TETSURO UEYAMA

[R]本書の全部または一部を無断で複写(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター(03-3401-2382)にご連絡ください。

Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

初出／コミック電撃大王 2002年4月号～2003年2月号(メディアワークス刊)

ISBN4-8402-2342-4 C0979